

名門千歳高ラグビーの再建を期して

誠之会会長 赤根 惇 第9期

ラグビー部創立五十周年おめでとうございます。昭和二十一年に四・五期生が中心になり、幾多の困難を乗り越えて、創部されたラグビー部が、半世紀に亘って高校ラグビー界に君臨し続けたことに深い感銘を覚えます。

五十年の歴史のなかで、たまたま昭和二十七年度に主将を務めた私が、誠之会長としての祝辞を申し上げることに、人生の巡り合せ、宿命、そして驚きさえ感じます。昨年正月に石垣前会長より次期会長との要請があり、お断りする理由がないまま引き受けました。息子も四十四期生、ラグビー部でご厄介になったこともあり、ご恩返しのため務めております。改めて五十周年を心からお祝い申し上げ、その間の四期生からの諸先輩のご苦勞に感謝し、また九・十期生以下の同志各位のご努力に敬意を表したい気持ちで一杯です。私たちの千歳高は昭和十四年に青山の地で、府立第十二中として誕生しました。爾来六十年弱、幾多の変遷を乗り越え、卒業生総数二万人そして多くの立派な人材を世に送り、富士の校

章をいただいた、その質実剛健、文武両道の精神は、今尚生きていと確信します。唯ラグビー競技人口の世界的な減少に表徴されるように、スポーツに対する社会的な価値感の変化に抗しがたく、私達の千歳ラグビーも衰退しました。誠に残念至極でございます。

“One For All, All For One” “トライゲッターたるよりもチャンスメーカーたれ”のラグビー哲学は、世の中を明るくし、不正を追放します。私達は真摯にラグビーを追求する高校生に、心からの賛辞と応援を惜しみません。二十一世紀の日本を担う彼らに期待しています。幸いに現千歳高校は、本間校長を始め、教職員がクラブ活動重視の教育方針であり、私達OBは嬉しく、満腔の信頼をおき、母校ラグビー部の再建を心から願っています。OB会は万全の体制で花園三度目の出場を願い応援してゆきたいと思えます。心から祈ります!あの伝統のジャージに三本目の栄光の横線が入らんことを!!